

平成 20 年度政策評価結果

1 政策の評価結果の概要

政策の評価は、26 政策のうち、A 評価が 4 政策（学校教育、文化、生涯学習、観光）、B 評価が 13 政策、C 評価が 9 政策という結果になりました。今年度は、昨年度と比べ 2 政策（歩いて楽しいまちづくり、個性と魅力あるまちづくり）が C 評価から B 評価に、1 政策（市民参加）が B 評価から C 評価となったことから、A の政策数は 4 と昨年度と変わりませんが、B が 1 政策増加する一方、C が 1 政策減少し、全体として評価が若干向上しています。

・ 政策の評価（政策 26 項目の評価結果の内訳）

	年度	A	B	C	D	E	計
安らぎのある 暮らし (第 1 章)	20	1	5	4	0	0	10
	19	1	4	5	0	0	10
	18	0	5	5	0	0	10
	17	0	3	7	0	0	10
	16	0	4	6	0	0	10
華やぎのある まち (第 2 章)	20	3	7	1	0	0	11
	19	3	6	2	0	0	11
	18	3	6	2	0	0	11
	17	3	6	2	0	0	11
	16	3	6	2	0	0	11
市民との厚い 信頼関係の構築 (第 3 章)	20	0	1	4	0	0	5
	19	0	2	3	0	0	5
	18	0	2	3	0	0	5
	17	0	1	4	0	0	5
	16	0	0	5	0	0	5
計	20	4 (15.4%)	13 (50.0%)	9 (34.6%)	0	0	26
	19	4 (15.4%)	12 (46.2%)	10 (38.5%)	0	0	26
	18	3 (11.5%)	13 (50.0%)	10 (38.5%)	0	0	26
	17	3 (11.5%)	10 (38.5%)	13 (50.0%)	0	0	26
	16	3 (11.5%)	10 (38.5%)	13 (50.0%)	0	0	26

2 施策の評価結果の概要

施策の評価は、106施策のうち、A評価が18施策、B評価が48施策、C評価が34施策、D評価が6施策という結果になり、今年度は昨年度と比べA評価が3施策、D評価が4施策それぞれ増加する一方で、B評価が5施策、C評価が2施策それぞれ減少しています。

・ 施策の評価（施策106項目の各手法別評価結果及び総合評価の内訳）

	年度	A	B	C	D	E	計
客観指標 総合評価	20	47 (44.3%)	31 (29.2%)	24 (22.6%)	4 (3.8%)	0	106
	19	43 (40.6%)	40 (37.7%)	20 (18.9%)	3 (2.8%)	0	106
	18	36 (34.0%)	41 (38.7%)	26 (24.5%)	3 (2.8%)	0	106
	17	38 (35.8%)	38 (35.8%)	24 (22.6%)	5 (4.7%)	1 (0.9%)	106
	16	42 (39.6%)	42 (39.6%)	17 (16.0%)	5 (4.7%)	0	106
市民生活 実感評価	20	14 (13.2%)	32 (30.2%)	45 (42.5%)	14 (13.2%)	1 (0.9%)	106
	19	9 (8.5%)	31 (29.3%)	47 (44.3%)	19 (17.9%)	0	106
	18	10 (9.4%)	29 (27.4%)	53 (50.0%)	14 (13.2%)	0	106
	17	10 (9.4%)	27 (25.5%)	51 (48.1%)	17 (16.0%)	1 (0.9%)	106
	16	5 (4.7%)	21 (19.8%)	59 (55.7%)	18 (17.0%)	3 (2.8%)	106
総合評価	20	18 (17.0%)	48 (45.3%)	34 (32.1%)	6 (5.7%)	0	106
	19	15 (14.2%)	53 (50.0%)	36 (34.0%)	2 (1.9%)	0	106
	18	14 (13.2%)	56 (52.8%)	35 (33.0%)	1 (0.9%)	0	106
	17	14 (13.2%)	56 (52.8%)	34 (32.1%)	2 (1.9%)	0	106
	16	10 (9.4%)	56 (52.8%)	37 (34.9%)	3 (2.8%)	0	106

（参考）政策評価の対象と手法

(1) 評価の対象

特定の行政課題に対応するために目指すべき基本的方向である政策（26項目）と、政策をより具体化した行政活動の目標となる施策（106項目）の両方を評価します。

(2) 評価の手法

客観指標評価、市民生活実感評価の二つの手法による評価結果を総合的に勘案し、目的の達成状況を5段階で評価します。

客観指標評価 各施策の状況を統計的な数値により表現した客観指標を設定し、その目標達成度や年次推移で評価

市民生活実感評価 施策分野ごとに、市民生活が今どのようなになっているかを20歳以上の市民4,000人にお尋ねする市民生活実感調査を実施し、その結果に基づき評価